

令和2年第3回西之表市議会定例会

所信表明並びに提案理由説明

おはようございます。

本日、ここに令和2年第3回西之表市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位には御出席くださいます、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症への対応が続く中、中央では政権交代の動きが慌ただしくなっています。地方自治の責任を負う者としては、しっかりと住民目線に立ち、福祉の向上を目指して参ります。

議員各位とも意見を交わし、責任を果たしたいと考えます。

猛烈な台風が近づきつつあり、庁内でも土嚢づくり等の準備を進めており、本日の会議終了後には、避難所開設準備など対策会議を開催する予定であります。

一方、新型コロナウイルス感染症に関しては、種子島ではまだ感染者の確認はありませんが、いつ発生してもおかしくありません。

災害に、感染症対策に、非常時に備え、万全を期してまいります。

それでは、まず、第2回定例会以降の主な市の状況について報告をいたします。

はじめに、農業・畜産の状況についてであります。

新型コロナの影響については、5月の緊急事態宣言解除後に消費の拡大が徐々に進んでいるものの、感染拡大前と比較すると、特に外食産業で使用される農産物や畜産物で販売価格の低下が続いています。

このような中、農家の経営安定・経営継続への支援を目的に、国の事業である「高収益作物次期作支援交付金」及び「経営継続補助金」の積極的な活用に関係機関一体となって取り組んでおります。

また、多大な影響を受けたお茶につきましては、国の事業と併せ、6月議会で承認された市単独事業「茶生産持続化支援事業」により、次年産の面積確保につなげることができました。

基幹作物の生育状況につきましては、まずサトウキビですが、これまでのところ、順調に生育しております。生産者の協力により、作付面積の拡大が得られ、収穫見込面積が582ヘクタールと、前年度より約30ヘクタール増加しており、生産量の増加が期待されているところです。

サツマイモにつきましては、澱粉用・青果用とも長雨による日照不足、基腐病発生等による収量、品質への影響が心配されますが、今後の適期管理及び天候回復の効果に期待したいと思います。

畜産におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、8月子牛セリ市の平均価格が、雌で56万4千958円（前年同月対比 6万2千160円減）、去勢で58万1千円（前年同月対比 15万6千460円減）と、昨年同時期より価格が下がっており、畜産農家の経営が憂慮されます。

また、農家の目標ともなる共進会につきましては、毎年実施される県畜産共進会及び県ホルスタイン共進会が中止となり、それに伴い熊毛地区共進会及び市共進会も中止となっております。

こうした、先行き不透明な環境の中で、農家の皆様の状況等をしっかりと見据えながら施策を講じてまいります。

次に、商工業や観光、交流事業の状況について報告いたします。

7月15日、新型コロナ禍により、売上が減少している市内の中小事業者等を支援するため、事業持続化支援金事業の受付を始めました。これは、前年度との減収額を基準に上限30万円を支給するもので、商工会を窓口に関し9月30日まで申請を受け付けています。

7月中旬には市民生活の支援及び地域経済を活性化するため、市内で利用できる商品券「たねがしまるチケット」を一人当たり5千

円分発行し、全世帯に配布しています。また、感染防止の観点から
8月8日、市内の商工業者等を対象に消毒講習会を開催しました。

今年、第51回鉄砲まつりは、新型コロナ禍により中止しましたが、鉄砲伝来に臨み国産化の偉業を成し遂げた種子島時堯公の遺徳を偲び、8月23日、お坊墓地及び種子島時堯公銅像前において、墓前祭及び献花を執り行いました。

日葡修好160周年にあたり、8月下旬から9月19日までポルトガルのリスボンで、在ポルトガル日本大使館の主催による「日本映画特集2020」が開催されています。

この中で、9月18、19日の2日間、種子島を舞台にした映画「ライフ・オン・ザ・ロングボード セカンドウェーブ」が上映されます。本市は、ポルトガル語の字幕付きのブルーレイディスクを製作し、日本、ポルトガル両国の大使館と姉妹都市のヴィラ・ド・ビスポ市に贈呈しました。世界に向けてサーフィンの聖地種子島の魅力を多くの人々に知っていただきたいと思います。

本年は、新型コロナ禍の影響で多くの行事が見送られています。感染症との戦いを乗り越えて、市民の皆様とともに、新たな日常を構築したいと考えております。

そのために各種施策を展開してまいりますので、市民の皆様並びに議員各位のご協力を宜しくお願いいたします。

「馬毛島」の状況についてもご報告いたします。

去る8月6日、馬毛島体験学習を実施しました。

参加した子どもたちは、島が育んできた自然や独特の雰囲気につきり魅了された様子でした。これまで3回の活動を通じ、この島が教育・観光面で十分活用できることを再確認したところです。

翌7日には、防衛副大臣の来訪があり、馬毛島における施設整備について説明を受けました。体験学習をした前日とは打って変わり、軍事基地整備の案について説明を受けました。長年、翻弄されてきたこの島の行く末について、歴史・文化を受け継ぐ我々は、未来を生きる子どもたちのためにも、最善の選択をしなければなりません。先祖や先輩から引き継いだ大切な宝である馬毛島を、しっかり守り、次代に伝えていく決意を、これまで以上に固くしたところです。

防衛省からの説明内容につきましてはその疑問点等を整理し、防衛省に回答を求めています。

それでは、主な議案についてご説明いたします。

議案第59号は、西之表市手数料条例の一部を改正する条例の制定についてであります。行政手続関連法令の一部施行に伴い通知カードが廃止されたため、所要の改正を行うものであります。

議案第60号は、西之表市都市計画事業基金条例の制定についてであります。地方自治法第241条第1項の規定に基づく基金を設置し、都市計画税を適正に管理・運用することにより、都市計画事業の円滑な推進を図るため条例を制定しようとするものであります。

議案第61号から議案第67号は、一般会計及び特別会計等の補正予算であります。

議案第61号、令和2年度西之表市一般会計補正予算（第6号）についてご説明いたします。

歳入では、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金の2次分三億七千八百七十二万一千円や普通交付税が確定したことに伴い九千百四十五万一千円を追加いたしております。また、令和元年度決算に伴う収支の確定により、繰越金に七千三百八万六千円を追加しております。

歳出は、児童福祉費、商工費、教育総務費、小中学校費などを中心に新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、四億五千八百

三十四万三千円を追加し対応しております。

次に、認定第1号から認定第7号までは、令和元年度一般会計及び特別会計等の歳入歳出決算認定であります。

令和元年度一般会計及び特別会計の収支状況は、歳入決算額百五十四億一千七百三十七万八千六百五十八円、歳出百五十一億八千九百八十一万七千八百二十二円で、歳入歳出差引額は二億二千七百五十六万八千三百三十六円、翌年度へ繰り越すべき財源七百二十三万五千円を控除した実質収支額は二億二千三十二万五千八百三十六円となりました。

一般会計の収支状況は、歳入決算額百六億四千七百六万六千三百八十四円、歳出決算額百五億三千六百七十四万五千百七円、翌年度に繰り越すべき財源七百二十三万五千円を控除した実質収支額は、一億三百八万六千二百七十七円となり、実質収支は黒字であります。前年度の決算額に対しまして、歳入は、3.32%、歳出は、1.51%それぞれ減となりました。

特別会計では、歳入決算額四十七億七千三十一万二千二百七十四円、歳出決算額四十六億五千三百七万二千七百十五円で、歳入歳出差引額は、一億一千七百二十三万九千五百五十九円となり、翌年度

へ繰り越すべき財源はないことから実質収支額も同額となりました。

前年度の決算額に対しまして、歳入は、0.31%、歳出は、2.06%それぞれ増となりました。

なお、普通会計における経常収支比率は、92.0で対前年度比1.5ポイント減少しております。健全化指標は、実質赤字比率及び連結実質赤字比率がゼロ、いわゆる黒字であります。実質公債費比率の3か年平均は、9.8で、対前年度比0.4%の増加、将来負担比率は、22.8で対前年度比23.1ポイント減少しております。

財政の健全化は保たれており、各指標は概ね減少傾向にあります。今後とも、財政の健全さを損なうことのないよう、細心の注意を払ってまいります。

報告第14号は、令和元年度公益社団法人西之表市農業振興公社経営状況報告についてであります。地方自治法第243条の3第2項の規定により報告するものであります。

以上、議案9件、認定7件、報告1件合計17件であります。

提案いたしました議案及び認定につきまして、議員各位の御審議をお願い申し上げます、提案理由の説明といたします。

ありがとうございました。

令和2年9月4日

西之表市長 八板 俊輔